



志津南

4月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (2/28 現在)
世帯数 2,493 総人口 6,651 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

各種団体代表者名簿	
環境美化委員会	谷 学
交通防犯委員会	井用 浩介
人権教育推進委員会	摂津 秀典
ふれあい推進委員会	宮永 俊昭
体育振興委員会	中村 博子
青少年育成委員会	佐藤 恵子
社会福祉協議会	松崎大次郎
健康推進員連絡協議会	千金楽晃子
民生委員児童委員協議会	浅野 謙一
志津南小学校PTA	長谷川友佳
草津栗東交通安全協会支部	佐々木奉昭
少年補導委員会	中地 耕一

令和4年度 各種団体代表者決まる

2月22日、志津南まちづくりセンターに「市長とトク」質問を投げかける形になっ

市長とトーク時の質問回答に訪れた市担当職員



2月8日「自然災害発生時における自助、共助、公助」をテーマに行われた「市長とまちづくりトク」の席で、いくつ

りょうぶの道 危険樹木伐採へ まちづくりトク質問事項に市の回答

1ク」での質問に対する説明に草津市の担当部署の職員が訪れました。2月8日「自然災害発生時における自助、共助、公助」をテーマに行われた「市長とまちづくりトク」の席で、いくつ

【危機管理課】

今回はこの時の質問に対し、危機管理課、道路課、河川課、公園緑地課から説明に来ていただき、次のような回答を得ました。



グループ会議 まち協副会長に松崎さん選出

志津南学区まちづくり協議会（高田憲一会長）は3月12日、グループ会議を開き、新年度の各種団体代表者が集まりました。四方まち協副会長より、先日理事会及び書面での臨

時総会で承認され、4月1日付で改正されたまち協の組織図について説明があり、副会長1名を選出しました。これまでの組織は、理事会とグループ会議が並立しており、グループ代表一人



まち協組織図の説明を聴く団体代表

が理事会に参加する形になつていました。専門委員会や委嘱団体の活動は活動分野が互いに異なり、代表一人がそれぞれ

の声を理事会に届けることには無理があること、またグループ会議が総会に直結している形に

加する形になつていました。専門委員会や委嘱団体の活動は活動分野が互いに異なり、代表一人がそれぞれ

の意見が正副会長に届きにくかったため、グループから1人副会長を出すよう改正されました。そのため、令和4年度のグループ代表から副会長を選出する必要があり、社会福祉協議会会長の松崎大次郎さんに決定しました。

土砂災害重点地域の指定勾配や高さの条件があり、航空写真や計測データから判断している。5年に一度見直される。近隣の会館を避難場所に土砂災害に限定し、必要な物資等は届けることができる。

【河川課】伯母川の維持管理 6月頃までに、雑木の伐採・除去を計画しているが、浚渫までは及ばない。常にパトロールで危険箇所は把握している。

【公園緑地課】現在調査中で、倒木の危険性の高い80本程度を順次伐採していきたい。石積みの上の危険樹木数本は至急伐採を検討している。志津南まちづくり協議会では、今後も市と密接な連携を取りながら、安心・安全なまちづくりを心がけていきたいと考えます。

「わかくさ号」⇨写真⇨の運行内容が変更されています。志津南学区内の巡回場所は、これまで通り「志津南まちづくりセンター」と「か



令和4年4月1日から草津市の移動図書館「わかくさ号」⇨写真⇨の運行内容が変更されています。志津南学区内の巡回場所は、これまで通り「志津南まちづくりセンター」と「か

わかくさ号日時変更

が、日時が次のように変更になりました。ご注意ください。▽志津南まちづくりセンター 毎月第四木曜日 16時00分～16時30分

総会2年続いて文書審議に

家庭に配布された議案書



3回目のコロナワクチン接種も順次進んでいいるようですが、陽性者数は増減を繰り返しながらも、なかなか減少の兆しが見えて来ないようで、やむなく文書

これからどうぞお元気で

追分南町内会以外の志津南学区内12町内会・自治会では、総会を文書審議に切り替えて実施しました。それぞれ3月後半から4月にかけて総会日程を定めて

志津南学区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)は3月上旬、友愛訪問を実施しました。

また、それぞれ3月後半から4月にかけて総会日程を定めてい

これは学区社協事業の支援で、自宅でお過ごしの方を訪問。お顔を

審議に切り替えられました。追分南町内会の総会は4月17日、追分南会館で実施が予定されています。

文書審議に慣れてしまうと、コロナ後になって総会出席率が減るのではといった懸念の声も聞かれます。

笑顔でプレゼントを受け取る対象者



笑顔をプレゼントを受け取る対象者

ぬ日々での孤立感から気持ち沈んでおられるのではないだろうか、現状を知ることが大事なのもこの訪問の大きな目的と考えています。

六年生を送る会中止

かがやきの丘子ども会(柳田真紀子会長)は、3月に「六年生を送る会」を開き63人

の六年生の卒業をお祝いする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止しました。

届けたい人に届く情報紙をつくる



パネルディスカッション風景

「あの人に読んでほしい届けたい人に届く情報紙をつくる」講座を開き、志津南まちづくり協議会広報委員会より吉田知津子さんがパネラーとして参加しまし

「これは市民活動団体やこれから活動を始めようとする人スキル獲得の機会として、年間8回実施する「人とまちの未来をつくるカレンダー」の第8回としての企画です。NPO法人まちづくりネット東近江事務局長の森下瑠美さんを講師として前半に講演いただき、後半は市内で発刊されている情報紙4誌(MAMA PAPER、SPORT、いくせい、コミュニティくさつ、志津南ニュース)の担当者がパネラーを務めました。

草津市コミュニティ事業団が3月16日、市民総合交流センター(キラ

当まちづくり協議会が発行している「志津南ニュース」について話を聞かせて欲しいとの依頼に応じたも

紙面を作成している上で

このこだわりや、作成のために毎月開いている広報編集会議について、また作成過程でドロップボックスなどを利用して合理的に作業を進めていること、制作ソフトはインデザインを使ってネット入稿していることなどについても質問があり、説明しました。

他の三誌が広く市民に対して内容を知らせることを目的としているのに対し、志津南ニュースは学区内で情報を共有することを目的としており、少スタイプが違いはありますが、互いに刺激にもなりました。



分団登校では下級生を見守ってくれたり、小学校内では縦割り班遊びなどで一緒に遊んでくれた六年生に「卒業おめでとう、ありがとう」の気持ちを伝えられる場が持てなくなってしまうのは、非常に残念です。子ども会の会員の皆さんには、会の終了後にお土産

「志津南文庫」は、志津南まちづくりセンターのサロンの一角を利用し、地域住民の方に、図書館まで出掛けなくても、図書館でお借りした図書(100冊ほどですが)、貸し出すコーナーです。

4月は、年度初めの関係上、「志津南文庫」に図書を置かせていただくのが、4月中頃になります。志津南センターに来られた時に、サロンの「志津南文庫」コーナーを覗いてみてください。読んでみたい本に出合えるかも…。

「志津南文庫」は、志津南まちづくりセンターのサロンの一角を利用し、地域住民の方に、図書館まで出掛けなくても、図書館でお借りした図書(100冊ほどですが)、貸し出すコーナーです。

4月は、年度初めの関係上、「志津南文庫」に図書を置かせていただくのが、4月中頃になります。志津南センターに来られた時に、サロンの「志津南文庫」コーナーを覗いてみてください。読んでみたい本に出合えるかも…。



地域コーディネーター交代
令和4年度 地域協働合校
地域コーディネーター交代
令和2年度から2年間務めた垣根和子さんと交代で、地域と小学校との連携調整役となります。

2年間、コロナ感染症のために学校地協事業もできないこともありましたが、実施には地域の皆様のご支援・ご協力・ご指導を得て、学校を、子どもたちを温かく見守り、充実した実りある体験の場を提供でき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

「志津南文庫」は、志津南まちづくりセンターのサロンの一角を利用し、地域住民の方に、図書館まで出掛けなくても、図書館でお借りした図書(100冊ほどですが)、貸し出すコーナーです。

4月は、年度初めの関係上、「志津南文庫」に図書を置かせていただくのが、4月中頃になります。

志津南センターに来られた時に、サロンの「志津南文庫」コーナーを覗いてみてください。

読んでみたい本に出合えるかも…。

志津南文庫

地域のためにありがとう



を受賞し、3月5日の授賞式に臨みました。写真。

この賞は、地域の為にコソコソと長年にわたり続けた活動に「ありがとう」の気持ちを伝える賞です。

志津南環境美化ボランティアの会(舟木要二代表)が、草津市コミュニティ事業団から、ひとまちキラリ令和3年度「イキイキ活動賞」



最近テレビで、表情豊かに手を動かす手話通訳を目的とする機会が増えてきました。

ろう者(聴覚障がい者)は情報が少なく取り残されがちでしたが、手話が付くことにより聴者と同じようにメッセージを伝えることができます。ろう者とは聴覚に障害があって耳が聞こえない人と言います。難聴者も中途失聴者も含めてろう者という言い方をしま

す。対して聞こえる人を聴者(健聴者)と呼びます。手話は日常の生活から生まれた表現で、手や指の形と動きで情報を伝えることができる言葉です。単なる身振りではなく、独自の文法体系を持ち、表情もセツトの言語なのです。今回はあいさつの手話を紹介しますので、にこやかな表情と共にチャレンジしてみてください。こんにちは 指を人に見立てて、両手人差し指を左右から近づけ

なり、地元の自治会や企業・銀行・小学校等との連携を促すなど、環境美化に留ま

ることなく「緑の手入れ」がもつ多角的な効能を導きだした活動展開が「まちづ

春から新しい世界に

お母さんに見守られ仲良く遊ぶ子どもたち



子育てサークル若草おやこっこクラブ(山出聡子代表)は3月3日、志津南まちづくりセンターでお別れ会を開催しました。

て曲げ、同時に自分も会釈します。

ありがとうございます 右手を左手甲に軽く当て、



挨拶が賞金をもらう時に手刀をきる仕草から生まれた手話です。



次回からも、いろいろな手話を紹介させていただきます。(手話サークルうさぎ)

くり活動」のモデルとして高く評価されたことです。

たく子どもたちの成長と笑顔がたくさん見られたお別れ会となりました。

器よりの話に花が...

草月流生け花サークル「花いちもんめ」(田中敏子代表)は2月28日、びわ湖放送「フレ!フレ!アミンチュ」の取材を受けました。取材映像はテレビに流れ、ネットにアップ、冊



湖放送「フレ!フレ!アミンチュ」の取材を受けました。取材映像はテレビに流れ、ネットにアップ、冊

子どもらしさ100%

子になるとの事。いつもと一味違う経験をしました。器に花を生けるより、話に花が咲くことも多々ありますが、口八丁手八丁のメソッドは、花展の計画や小旅行・食歩きなどの計画、果ては野菜の分配などしながら、自分磨きの大切な時間を過ごしています。二年目を迎えたコロナ禍でも、元気にサークル活動ができて



若草文庫(林より子代表)では2月16日、若草第三集会所でお雛祭りを楽しませました。写真。毎週水曜日14時半ごろになると、下校後の子どもたち15人あまりが「こんにちは」と元気な声で三々五々集まります。

消毒をすませ部屋に入るなり、器用に折り紙を見せてくれる子どもや、スタンプ相手に学校での出来事などを楽しそうに次から次へと話しかけてくる子どもなど、とても賑やかです。

大学生ボランティアのお兄さんたちが到着すると、たちまち隣の公園に飛び出して行き、子どもらしさ100%全開。「かけっこ」や「かくれんぼ」で17時閉館まで元気いっぱい遊ぶ様子を、お雛様もスタンプものんびり見守っていました。

百歳体操 300回達成 追分南町内会「元気くらぶ」で3月9日、いきいき百歳体操300回達成者が発表されました。

300回を達成されたのは、追分南町内会 片岡サツ子さん



写真。平成27年6月24

日に百歳体操を始めて6年9カ月(通算318回)で、300回を達成されました。他の参加者の参加率を圧倒的に上回る驚異的な参加率です。いきいき百歳体操の効果でか、元気でいきいきとされています。

今回の300回達成に敬意を表し、認定証書と豪華副賞を授与して称えました。

歌い続けて300回



懐かしい歌を楽しく歌う参加者

議室で記念大会を開きました。

記念日の選曲は、「懐メロ名曲100選」から参加者に10曲を選んでもらいました。「青い山脈」「愛燦燦」「いい日旅立ち」「琵琶湖周航の歌」などが選ばれました。

地域サロン「懐メロを歌う会」(村井教夫代表)は、懐かしい名曲の数々を15年歌い続けて、2月24日めでたく300回を迎え、志津南まちづくりセンター大会

前半5曲のあと、コーヒ―茶菓で休憩し、メンバー3人による「花」の合唱、談笑後半へと続きました。アンコールの曲に選ばれたのは、「学生時代」。

の絡まるチャペルで...と若かりし頃を思い浮かべながら歌い納めました。

サロンの活動は、毎月第2・第4木曜日に行っています。毎回40人近くが参加し、10時30分から一時間、村井教夫さん・早瀬正和さんのギター伴奏に合わせて、童謡・抒情曲・歌謡曲など10曲を歌います。

村井さんから曲ごとの歌にまつわる解説に耳を傾けると、懐かしい時代・情景が目につかびます。コロナ感染症対策をしっかり取り組む中、マスクをしたままでの合唱は結構きついです。皆さんとてもいきいきとした声で楽しく歌っています。地域の皆さま

「鎌倉殿と京都権門の戦い 宇治の地で承久の乱を振り返る」
②8月31日(水)
「六波羅と二道の辻・京都五山第四位東福寺」
③11月16日(水)
「後鳥羽天皇ゆかりの地 京都大原」
▽定員 先着18人
▽受講料 全3回 1800円(館外保険代含む)

史跡探訪受講生募集
志津南まちづくりセンターは令和4年度の「史跡探訪」の受講生を、次の要領で募集します。
今年度のテーマは「鎌倉時代の京都・近江を巡る」と題し、3回シリーズで実施します。

①5月18日(水)
「鎌倉殿と京都権門の戦い 宇治の地で承久の乱を振り返る」
②8月31日(水)
「六波羅と二道の辻・京都五山第四位東福寺」
③11月16日(水)
「後鳥羽天皇ゆかりの地 京都大原」
▽定員 先着18人
▽受講料 全3回 1800円(館外保険代含む)

▽申し込み 4月8日(金)9時〜志津南まちづくりセンター窓口へ受講料を添えてお申し込みください。定員になり次第締め切ります。
※別途、昼食代及び拝観料等は実費負担です。
※やむを得ない理由で場所日時等、変更する場合があります。

パソコンの駅
▽パソコンについての相談
▽4月23日(土)
5月25日(水)
13時〜16時
▽場所 センターサロン
地域内困りごと相談窓口を兼ねています。

資源回収
★かがやきの丘町内会
□毎月第1・3土曜日
★フォレストトロース子供会
□毎月第2日曜日
★向山子供会
※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・ウエス・雑紙

メジャーをオシャレに変身

地域サロン「志津南アンサンブルパワ―」(吉田知津

子代表)は2月19日、手作りワークショップを開催し、12人が参加しました。



針も糸も使わずメジャーが変身

「ミニミニワークショップ」布DECOメジャーと題し、裁縫箱の片隅に転がっているメジャーをお気に入りの布でくるんでおしゃれに変身させようという企画です。針と糸は使わず、最初から最後まで両面テープで作業です。



完成した作品

縫物はチョット苦手...と苦笑いする男性陣も「これなら」と楽しそうに取り組んでいました。

リボンを貼り付けてアクリルシートにしたり、ストラップをつけたり、思い思いに工夫を加え、多彩なオリジナルメジャーができて上がり、参加者は満足そうでした。



寒かった冬も漸く終わり、いよいよ待望の春が到来です!
でもコロナ対策のマスク着用が常態化して早や3年!コロナの終焉は一体いつになるのか?
今から百年ほど前の大正時代、世界的にスペイン風邪が蔓延流行しました。この時も4年間にわたり感染の波があり、日本での感染者数は2380万人、死者は39万人だったそうです。一方で現在の日本のコロナ感染状況を見てみると、既に6波の感染の波が出現し、この3年間の感染者は560万人、死者は2万5千人との事。この先どうなるのか判りませんが、できるだけ3密を避け、うがい、手洗いの励行で乗り

緑の帽子とベスト



調整池で草刈り中

私事ですが10年以上前に停年を迎えた当時は、これから色んなことがノビノビと出来るぞ!嬉しい!あれもやろう!あれも読みたい!これも調べたい!等々と考えていました。しかし...知識を得るための読書等はそれなりに意味

があつたのですが、直ぐに何かの役に立つとの実感がなくて、既に劣化し始めてきた脳には何も入らず身につかずの現実!直向!
さてどうしようかな?と考えていたある日、近所の方からボランティアしてみる?との有難いお誘いの言葉。ボランティアには少し興味があつたのと、庭木の剪定方法なども教えて貰えるかなとの軽い気持ちで覗いてみる事にしました。
ほんの軽い気持ちでの参加でした。
ところが何回か参加している内に、面白い!楽しい!との思いが持てるようになったのです...。それから数年、今や緑の帽子とベストで、街中を仲間と一緒に動き回っています。
「何故なんですか?」
...とても残念ですが紙面の都合でこの続きは来号となります。悪しからずご容赦のほど!